

演習用紙 1

演習・討議
(年 月 日)

グループ	リーダー	書記	メンバー			
			(発表)			

演習 1 のフォークリフト作業について実施します。

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 *1 (災害に至る過程として「~なので、~して」+ 「~になる」と記述します)	3. 既存の災害 防止対策	4. リスクの見積り *2				5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスク の見積り *2				7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			重篤度	可能性	頻度	リスク		重篤度	可能性	頻度	リスク	対策 実施日	次年度 検討事項	
フォークリフト 運搬作業	①フォークリフトを旋回させるとき、急ハンドルを切ったのでフォークリフトが横転し、シートベルトをしていなかった作業者が投げ出される。	作業前の手順書の確認をしている。	A											
同上	②フォークリフトをバックで運転中、急激に後退したため、後方の積荷に激突して作業者が投げ出される。	作業前の手順書の確認をしている。	10	2	2	IV (14)	・再教育をする。 ・作業手順書を見直し、改定する。	10	1	1	IV (12)	H19 X/25	運転手の定期的な社内技能講習を行う。	
同上	B ③													
同上	④													
同上	⑤													
同上	⑥フォークリフトを運転中、積荷の昇降に気を取られていたので、後方の作業者に気付くのが遅れて激突する。	作業前の手順書の確認をしている。	10	4	2	IV (16)	・フォークリフト専用作業帯に柵を設置する。 ・積載量の見直しをする。	6	2	1	III (9)	H19 Z/1		
同上	⑦フォークリフトをバックで旋回させたとき、急ハンドルを切ったので、搬出中の積荷が右に傾いて製品が飛び出し、台車で荷物を運搬中の作業者に飛来する。	作業前の手順書の確認をしている。	6	2	2	III (10)	・再教育をする。	6	1	1	II (8)	H19 X/22	運転手の定期的な社内技能講習を行う。	

*1 : 災害の過程をわかりやすく表現します。危険性又は有害性「~なので、~して」+「~になる」のように記述します。

*2 : 重篤性、可能性、および頻度は、それぞれ第3章(52頁~)の重篤度(災害の程度)、発生の可能性(発生の確率)、および危険性又は有害性に近づく頻度をいいます。リスク欄ではリスクの点数(リスクポイント)を()内に記入します。

演習・討議

演習 2 の堰折り作業について実施します。

(年 月 日)

グループ	リーダー	書記	メンバー				
			(発表)				

(化学物質・粉じん)

1. 作業名	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程として「～なので、～して」+ 「～になる」と記述します)	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り				5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスクの見積り				7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			有害性 レベル	予 測 ばく露量 (EP)	望ましい 管理手法	現在実施 管理手法		リスク	有害性 レベル	予 測 ばく露量 (EP)	望ましい 管理手法	現在実施 管理手法	リスク	
①														
②														
③														

(騒 音)

1. 作業名	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程として「～なので、～して」+ 「～になる」と記述します)	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り			5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスクの 見積り			7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			有害性 レベル	ばく露 時間	リスク		有害性 レベル	ばく露 時間	リスク	対 策 実 施 日	次 年 度 検 討 事 項	
①												
②												
③												

(暑 熱)

1. 作業名	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害 (災害に至る過程として「～なので、～して」+ 「～になる」と記述します)	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り			5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスクの 見積り			7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			有害性 レベル	作業の 程度	リスク		有害性 レベル	作業の 程度	リスク	対 策 実 施 日	次 年 度 検 討 事 項	
①												
②												
③												

*この一覧表は、職場の工程ごとに作成します。各工程の全ての作業（作業手順）を取り上げ危険性又は有害性の特定から進めます。